

NEWS & TOPICS



団員ら400人が参加 平成30年度春季消防検閲 初夏を思わせる日差しの下、日頃の訓練の成果を披露

町では4月22日に春季消防検閲を実施しました。

当日は、初夏を思わせる日差しの下、消防団員、女性消防隊、役場消防隊ら総勢400人と消防車両29台が参加し、野沢駅前通りで閲団式を行った後、野沢中央通りで分列行進、続いて西会津中第1グラウンドで検閲式を行いました。

閲団式では、長谷川克美消防団長が「町民一人一人の火災予防・防災意識を高めていくため、予防消防に努めていく」とあいさつし、薄町長は「地域防災力の強化のため、積極的な消防行政の充実を図っていく」と町の方針を示しました。

規律訓練では、団員の皆さんが機敏に日頃の訓練の成果を披露し、応急手当訓練では女性消防隊の皆さんが身近な物を使った応急手当を実演しました。

「日頃の訓練の成果を拝見できた。総評として大変良好」と薄町長が講評を述べた後、日本消防協会定例表彰、町消防表彰、町消防団長表彰が行われ、受賞者を代表して長谷川竹雄班長が謝辞を述べました。

春季消防検閲の最後には、大槻橋上流の長谷川で本番さながらの放水訓練が行われ、放たれた水が青空に大きな弧を描きました。